



2020年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ  
代表者名 代表取締役社長 持塚 朗  
(コード番号：4398 東証 JASDAQ)  
問 合 せ 先 経営企画室 室長 高田 宜史  
(TEL 03-5338-7430)

### 2021年6月期の業績予想について

2021年6月期(2020年7月1日から2021年6月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

| 項目               | 決算期 | 2021年6月期<br>(予想) |            |            | 2020年6月期<br>(実績見込み) |            |
|------------------|-----|------------------|------------|------------|---------------------|------------|
|                  |     |                  | 対売上<br>高比率 | 対前期<br>増減率 |                     | 対売上<br>高比率 |
| 売 上 高            |     | 4,580            | 100.0      | 9.7        | 4,176               | 100.0      |
| 営 業 利 益          |     | 400              | 8.7        | 13.7       | 351                 | 8.4        |
| 経 常 利 益          |     | 381              | 8.3        | 17.7       | 323                 | 7.8        |
| 当 期 純 利 益        |     | 296              | 6.5        | 25.6       | 235                 | 5.6        |
| 1株当たり当期<br>純 利 益 |     | 76円33銭           |            |            | 59円51銭              |            |
| 1株当たり配当金         |     | 10円00銭           |            |            | 10円00銭              |            |

#### 【2021年6月期業績予想の前提条件】

##### (1) 当社全体の見通し

当事業年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの産業が低迷、下振れする一方、5Gやテレワーク関連事業等で上振れする業界も出てくるなど、業種による明暗がはっきりと出始めている状況と認識しております。

このような経済環境のもと、情報セキュリティ市場におきましては、テレワークの増加に伴うWeb会議システムのセキュリティ懸念や、テレワーク終了により社内に持ち込まれる端末のウイルス感染等による情報漏えい事故懸念、大規模製造業や通信事業者に対するサイバー攻撃など、深刻な被害につながる攻撃が増大する一方であります。

このような背景から、情報セキュリティ市場は引き続き拡大傾向にあり、当社のサービス需要も継続して増加しております。当社としては、新型コロナウイルスの感染拡大状況が不透明な中、大

幅な増収増益を追求せず、現状の人員体制を維持しながら、一人当たりの生産性向上を追求し、利益率の向上に努めてまいります。

また前年度より、全社員の1日の標準勤務時間を1時間減少（1日6.5時間勤務）とし、社員の満足度向上を進めてまいりました。今年度は更に、全社原則テレワークとなった勤務形態の変更に伴う労務管理の強化を進めてまいります。特に営業職については、営業形態の転換を考慮した業務内容の変革を進めます。

以上のことから、当社の2021年6月期の業績は、売上高4,580百万円（前期比9.7%増）、営業利益400百万円（前期比13.7%増）、経常利益381百万円（前期比17.7%増）、当期純利益296百万円（前期比25.6%増）を見込んでおります。

## (2) 業績予想の前提条件

### ①売上高

企業向けのサイバー攻撃の増加に伴う需要動向などの外部環境を踏まえて、サービス毎に策定しており、前期比9.7%増である4,580百万円を計画しております。

### ②売上原価

各サービスに係る外注費や仕入原価、労務費、地代家賃、減価償却費、研修費等により構成されており前期比7.7%増の3,171百万円を計画しております。

### ③販売費及び一般管理費、営業利益

主に営業部門や管理部門の人件費、広告宣伝費、及びその他の経費で構成されております。事業規模拡大に伴い、営業部門を中心に8名の人員を増加する計画であり、広告宣伝費の増加、社内システムシステムの自動化、TV会議等を中心としたクラウド利用の増加を予定しております。これらにより当期の販売費及び一般管理費は前期比14.9%増の1,008百万円を計画しております。以上の結果、営業利益は前期比13.7%増の400百万円を計画しております。

### ④営業外収支、経常利益

主にリース契約の利息等として18百万円を計画しております。以上の結果、当期の経常利益は前期比17.7%増の381百万円を計画しております。

### ⑤当期純利益

法人税等および、法人税等調整額として85百万円を見込んでおり、当期純利益は前期比25.6%増の296百万円を計画しております。

## 【業績予想に関するご留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。特に新型コロナウイルスの感染拡大により、市場環境が大幅に変動した場合には、予想数値と異なる可能性があります。

以上